

アムンディ・欧州CBファンド
 (ユーロコース)
 <毎月決算型>

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／その他資産（転換社債）	
信託期間	2014年3月28日から2018年1月24日（当初：2019年7月18日）までです。	
運用方針	欧州の転換社債（CB）を主要投資対象とする「ストラクチャ-欧州コンバーチブル（I10シェアクラス、ユーロ）」を主要投資対象とし、中長期的な投資信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。なお、「CAMネーブルファンド（適格機関投資家専用）」への投資も行います。原則として対円で為替ヘッジは行いません。	
主要運用対象	アムンディ・欧州CBファンド (ユーロコース)<毎月決算型>	ストラクチャ-欧州コンバーチブル（I10シェアクラス、ユーロ） CAMネーブルファンド（適格機関投資家専用）
	ストラクチャ-欧州コンバーチブル（I10シェアクラス、ユーロ）	欧州の転換社債
	CAMネーブルファンド（適格機関投資家専用）	本邦通貨表示の短期公社債
組入制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。原則として外貨資産への直接投資は行いません。	
分配方針	毎決算時（年12回、原則毎月18日。休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、委託者が基準価額水準および市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。	

償還 運用報告書（全体版）
 第9作成期

第47期（償還日 2018年1月24日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

当ファンドはこの度、2018年1月24日に信託期間を終了（繰上償還）し、償還の運びとなりました。ここに、謹んで運用経過と償還内容をご報告申し上げます。今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

アムンディ・ジャパン株式会社

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1丁目2番2号

お客様サポートライン 0120-202-900（フリーダイヤル）

受付は委託会社の営業日の午前9時から午後5時まで

ホームページアドレス：<https://www.amundi.co.jp/>

アムンディ・欧州CBファンド（ユーロコース）＜毎月決算型＞

■最近5作成期の運用実績

	決 算 期	基準価額 (分配落)	税金		騰 落 中 率	投資信託 組入証 券率	投資証券 組入比率	純資産総額
			込	み				
		円	円		%	%	%	百万円
第5作成期	23期 (2016年2月18日)	8,333		5	△3.5	1.0	96.5	104
	24期 (2016年3月18日)	8,472		5	1.7	1.2	96.2	80
	25期 (2016年4月18日)	8,241		5	△2.7	1.3	96.0	78
	26期 (2016年5月18日)	8,242		5	0.1	1.3	96.0	78
	27期 (2016年6月20日)	7,694		5	△6.6	1.5	96.0	67
	28期 (2016年7月19日)	7,708		5	0.2	1.6	95.8	61
第6作成期	29期 (2016年8月18日)	7,549		5	△2.0	1.9	95.3	53
	30期 (2016年9月20日)	7,576		0	0.4	1.9	95.4	53
	31期 (2016年10月18日)	7,612		0	0.5	1.8	95.3	53
	32期 (2016年11月18日)	7,693		0	1.1	1.5	95.8	44
	33期 (2016年12月19日)	8,218		0	6.8	1.4	96.0	47
	34期 (2017年1月18日)	8,113		0	△1.3	0.8	96.6	36
第7作成期	35期 (2017年2月20日)	8,095		0	△0.2	0.9	96.3	34
	36期 (2017年3月21日)	8,227		0	1.6	0.9	96.3	35
	37期 (2017年4月18日)	7,941		0	△3.5	0.9	96.1	34
	38期 (2017年5月18日)	8,662		0	9.1	0.1	97.9	36
	39期 (2017年6月19日)	8,597		0	△0.8	0.2	96.9	32
	40期 (2017年7月18日)	8,929		0	3.9	0.2	97.3	31
第8作成期	41期 (2017年8月18日)	8,782		0	△1.6	0.2	96.1	23
	42期 (2017年9月19日)	9,095		0	3.6	0.3	97.4	19
	43期 (2017年10月18日)	9,019		0	△0.8	0.3	97.3	19
	44期 (2017年11月20日)	9,003		0	△0.2	0.3	97.3	19
	45期 (2017年12月18日)	8,788		0	△2.4	0.3	97.1	18
	46期 (2018年1月18日)	8,992		0	2.3	—	—	15
第9作成期	(償 還 時)	(償還価額)						
	47期 (2018年1月24日)	8,989.89			△0.0	—	—	15

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドは運用成果の目標基準となるベンチマークを設けておりません。また、当ファンドと適切に対比できる参考指数はありません。以下同じ。

■ 当作成期中の基準価額等の推移

決算期	年 月 日	基準価額	騰 落 率	投資信託	証券
				組入比率	比率
第47期	(期首) 2018年1月18日	円 8,992	% —	% —	% —
	(償還時) 2018年1月24日	(償還価額) 8,989.89	Δ0.0	—	—

(注) 騰落率は期首比です。

アムンディ・欧州CBファンド（ユーロコース）〈毎月決算型〉

【基準価額等の推移】

第1期首 (設定日)	10,000円
第47期末 (償還日)	8,989円89銭
既払分配金 (税込み)	135円
騰落率	△8.8% (分配金再投資ベース)



(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

【基準価額の主な変動要因】

下落要因

- ① 2015年4月から6月にかけて金利が上昇し、欧州株式市場と欧州社債市場が下落したこと
- ② 2015年11月から2016年2月にかけて株式市場が下落したこと
- ③ 為替市場において、ユーロ安・円高となったこと

上昇要因

- ① 2014年10月から2015年4月にかけて欧州株式市場とともに欧州社債市場が良好に推移したこと
- ② 2016年12月から2017年5月にかけて欧州株式市場とともに欧州社債市場が良好に推移したこと

【投資環境】

＜欧州CB市場＞

欧州株式市場は、設定当初は、地政学的緊張の高まり、ユーロ圏のデフレリスク懸念により不安定な動きとなりました。2014年10月以降、成長見通しの改善、ECB（欧州中央銀行）による大胆な量的緩和策の導入、ユーロ安等により大きく上昇しました。2015年4月から2016年2月にかけて、世界景気見通しの悪化等により株式市場は大幅に調整しました。その後11月に、米国大統領選挙にてトランプ氏の勝利をきっかけに、欧州株式市場は良好なマクロ環境に着目し上昇しました。欧州債券市場は、ECBの積極的な量的緩和策を受けて、設定当初からドイツ国債の利回りが大きく低下（国債価格は上昇）し、社債市場は良好に推移しました。しかし、ユーロ圏のデフレ脱却期待から2015年4月から6月にかけて金利は急騰し、社債市場も下落しました。量的緩和継続や2016年初の株価急落等により、国債利回りは再び低下し過去最低水準を更新しました。加えて、ECBによる社債購入開始により社債市場は2016年初以降、おおむね上昇基調となりました。このような環境下、欧州CB市場は新規発行の増加による需給悪化もあり、設定当初は下落しました。2014年10月以降は、新規CBの発行が少ないことも手伝い、市場は上昇しました。2015年4月から2016年2月にかけては、さまざまな要因により下落しました。2016年末から2017年5月にかけては、欧州の株式市場や社債市場の上昇を背景に上昇基調となりました。

＜為替市場＞

設定当初、141円台半ばで始まったユーロ／円相場は緩やかなユーロ安基調で開始した後、日銀による追加的な金融緩和策を受けて急速な円安が進行しました。ECBが金融緩和を推し進めるなか、原油価格の下落、中国の経済不安、英国のEU（欧州連合）離脱を問う国民投票をめぐるリスク回避の動きからユーロ安・円高が進みました。その後、追加緩和期待の後退などからユーロ買いが優勢となり、米国大統領選挙でトランプ候補が勝利すると、米国金利上昇から円が急落し、円は対ユーロでも下落しました。フランスの大統領選挙の不透明感などからユーロは軟調に推移した後、親EUのマクロン氏が勝利したことでユーロは持ち直し、その後、好調なユーロ圏の景気などを背景にユーロは上伸し、135円台で償還日を迎えました。

＜日本の短期国債市場＞

設定当初、日銀は長期国債買入れの拡大や年限長期化などの「量的・質的金融緩和」を導入しており、TDB（国庫短期証券）3ヵ月物利回りは0.03%近辺の水準で始まりました。日銀がマネタリーベース拡大のためにTDBを大量に買い続けたことから利回りは緩やかに低下し、2014年後半にはマイナス圏での推移となりました。2016年1月末に日銀が「マイナス金利付量的・質的金融緩和」を採用し日銀当座預金に対するマイナス金利導入が決定されると、TDB3ヵ月物の利回りはさらに低下し-0.40%を下回る水準まで低下しました。2017年に入ると日銀の金融緩和解除が意識され始めたことから、TDB3ヵ月物の利回りは上昇し-0.15%で償還日を迎えました。

アムンディ・欧州CBファンド（ユーロコース）〈毎月決算型〉

【ポートフォリオ】

〈当ファンド〉

当ファンドは、欧州の転換社債を主要投資対象とする円建の外国籍投資信託「ストラクチャラー欧州コンバーチブル（I10シェアクラス、ユーロ）」と、円建の国内籍投資信託「CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）」を投資対象とし、中長期的な投資信託財産の成長を図ることを目的として運用を行いました。当ファンドは「ストラクチャラー欧州コンバーチブル（I10シェアクラス、ユーロ）」に90%以上投資することを基本としていることから、設定来、この運用の基本方針に従い、当該投資信託を高位の組入れを維持しました。ただし、2017年12月18日の書面決議により繰上償還が決定しましたため、その後は組入有価証券の売却を開始し、解約金、償還金のお支払いに備えコール・ローン等の短期金融資産を中心とした安定運用を行いました。

（アムンディ・ジャパン株式会社）

〈ストラクチャラー欧州コンバーチブル（I10シェアクラス、ユーロ）〉

当ファンドは、CBの魅力である、下値抵抗力がある一方で株価上昇に追従できる特性を備えた銘柄を一貫して重視した運用を行いました。株式市場が大きく上昇（下落）するような局面では、株価との連動性が高い（低）まった銘柄を売却し、上述のような特性の銘柄と入れ替えました。その際に、同じ企業が償還年限の異なるCBを発行している場合には、同一企業の銘柄で入れ替えることも行いました。また新発債市場を活用し、バランス良く新発債を組入れることにより、業種分散を図りました。新発債には、利回りやプレミアム面で妙味がある銘柄も多く、ポートフォリオに相応しい銘柄の組入れを行いました。

（アムンディ アセットマネジメント）

〈CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）〉

設定来、主として6ヵ月以内に償還を迎える国債、政府保証債、地方債への投資と債券現先取引を行い、安定した収益の確保を目指して運用を行いました。

（アムンディ・ジャパン株式会社）

【分配金】

当ファンドは、繰上償還のため、分配は行いませんでした。

繰上償還にあたり、受益者のみなさまのご愛顧に対し心からお礼申し上げます。

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	第47期 (2018年1月19日 ～2018年1月24日)		項 目 の 概 要
	金額	比率	
(a)信託報酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	2円 (0) (1) (0)	0.018% (0.005) (0.012) (0.001)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b)その他費用 (印 刷 費 用)	0 (0)	0.003 (0.003)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 ファンドの法定開示資料の印刷に係る費用
合 計	2	0.021	

期中の平均基準価額は8,989円です。

- (注1) 費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
 (注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。
 (注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに
 小数第3位未満は四捨五入してあります。

■ 当作成期中の売買及び取引の状況（2018年1月19日から2018年1月24日まで）

該当事項はありません。

■ 利害関係人との取引状況等（2018年1月19日から2018年1月24日まで）

当作成期中における利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 組入資産の明細（2018年1月24日現在）

償還日現在、有価証券の組入はありません。

アムンディ・欧州CBファンド（ユーロコース）＜毎月決算型＞

■投資信託財産の構成（2018年1月24日現在）

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 15,928	% 100.0
投資信託財産総額	15,928	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨てです。

■資産、負債、元本及び償還価額の状況

(2018年1月24日) 現在

項 目	償 還 時
(A) 資 産	15,928,640円
コール・ローン等	15,928,640
(B) 負 債	3,835
未払信託報酬	3,330
未払利息	36
その他未払費用	469
(C) 純資産総額(A - B)	15,924,805
元 本	17,714,130
償 還 差 損 金	△ 1,789,325
(D) 受 益 権 総 口 数	17,714,130口
1万口当たり償還価額(C/D)	8,989円89銭

(注記事項)

作成期首元本額	17,714,130円
作成期中追加設定元本額	0円
作成期中一部解約元本額	0円

■損益の状況

当期 自2018年1月19日 至2018年1月24日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 226円
支 払 利 息	△ 226
(B) 信 託 報 酬 等	△ 3,799
(C) 当期損益金(A + B)	△ 4,025
(D) 前期繰越損益金	△1,666,672
(E) 追加信託差損益金	△ 118,628
(配 当 等 相 当 額)	(12,446)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 131,074)
償 還 差 損 金 (C + D + E)	△1,789,325

(注1) (B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注2) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

■投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2014年 3 月 28 日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2018年 1 月 24 日		資産総額	15,928,640円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	3,835円
				純資産総額	15,924,805円
受益権口数	55,776,081口	17,714,130口	△38,061,951口	受益権口数	17,714,130口
元本額	55,776,081円	17,714,130円	△38,061,951円	1万円当たり償還金	8,989.89円
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万円当たり分配金	
				金額	分配率
第1期	280,926,792円	278,702,390円	9,921円	0円	0.0000%
第2期	301,662,084	295,462,335	9,794	0	0.0000
第3期	312,128,421	305,602,463	9,791	5	0.0500
第4期	323,427,336	309,426,366	9,567	5	0.0500
第5期	323,566,844	304,546,961	9,412	5	0.0500
第6期	323,349,135	311,274,112	9,627	5	0.0500
第7期	323,388,734	291,509,706	9,014	5	0.0500
第8期	283,618,710	278,065,567	9,804	5	0.0500
第9期	196,629,815	193,592,536	9,846	5	0.0500
第10期	189,073,710	177,098,284	9,367	5	0.0500
第11期	183,246,834	178,271,694	9,729	5	0.0500
第12期	183,267,312	173,118,950	9,446	5	0.0500
第13期	178,018,005	168,295,565	9,454	5	0.0500
第14期	169,938,593	171,255,892	10,078	5	0.0500
第15期	157,998,226	159,185,046	10,075	5	0.0500
第16期	154,111,373	152,921,116	9,923	5	0.0500
第17期	136,056,302	134,892,554	9,914	5	0.0500
第18期	129,823,330	124,702,641	9,606	5	0.0500
第19期	127,741,367	121,162,141	9,485	5	0.0500
第20期	127,396,910	120,711,874	9,475	5	0.0500
第21期	127,250,415	118,753,642	9,332	5	0.0500
第22期	125,000,271	108,000,094	8,640	5	0.0500
第23期	125,006,202	104,172,585	8,333	5	0.0500
第24期	94,649,900	80,188,516	8,472	5	0.0500
第25期	94,645,632	78,001,251	8,241	5	0.0500
第26期	94,651,120	78,014,822	8,242	5	0.0500
第27期	88,233,672	67,887,496	7,694	5	0.0500
第28期	79,609,453	61,366,714	7,708	5	0.0500
第29期	70,614,221	53,303,285	7,549	5	0.0500
第30期	70,516,125	53,419,787	7,576	0	0.0000
第31期	70,516,125	53,675,407	7,612	0	0.0000
第32期	57,805,900	44,470,868	7,693	0	0.0000

アムンディ・欧州CBファンド（ユーロコース）＜毎月決算型＞

第 33 期	57,805,900	47,505,867	8,218	0	0.0000
第 34 期	44,776,383	36,326,031	8,113	0	0.0000
第 35 期	42,837,458	34,675,937	8,095	0	0.0000
第 36 期	42,837,458	35,241,412	8,227	0	0.0000
第 37 期	42,837,458	34,015,102	7,941	0	0.0000
第 38 期	42,081,888	36,450,829	8,662	0	0.0000
第 39 期	37,719,307	32,426,199	8,597	0	0.0000
第 40 期	35,762,175	31,930,425	8,929	0	0.0000
第 41 期	26,401,523	23,186,582	8,782	0	0.0000
第 42 期	21,933,374	19,948,129	9,095	0	0.0000
第 43 期	21,933,374	19,781,804	9,019	0	0.0000
第 44 期	21,924,225	19,739,405	9,003	0	0.0000
第 45 期	21,591,117	18,974,250	8,788	0	0.0000
第 46 期	17,714,130	15,928,830	8,992	0	0.0000

■償還金のお知らせ

償 還 決 算 日	2018年1月24日
1万口当たりの償還金（税込み）	8,989円89銭